

いま高知県の森林は、木材の価格低迷や人材不足でたいへん疲弊しています。そこで、高知県最大の財産である山を皆で守り、特長を磨き合って大きな飛躍を目指す決意を元に、この度『高知県林業活性化推進協議会』が発足致します。

この協議会は、林産業～製材・木材流通・住宅産業に限らず、高知県全域の農林水産業・商業・工業およびIT産業、またその他の学・官機関などを含み、共に県全体を6次産業のごとく活性化させる目的に設立され、いつでも参加出来る・広く開かれた協議会として運営されます。

過日2月4日に設立準備委員会が開催され、山を活性化し高知県全体を盛り上げようという理念から、組織名称は「高知県林業活性化推進協議会」に決定致しました。また設立準備事務局として、一般社団法人高知県中小建築業協会が、ネットワーク構築および啓発活動等の取組を開始しました。

補正予算が可決されることが前提ですが、準備は前もって急ぐ必要があります。まず取組が急がれる事業が、林野庁の木材ポイント制事業です。この事業では、木材の販売促進も無論大切ですが、発行されたポイントを地域農林水産品や地域振興券などに交換するしくみを利用した『地域活性化への利用』が求められています。

つきましては上記事業に関しまして、高知県産業振興計画アクションプランに沿った7地域において、2/19(四万十市・須崎市)、2/20(佐川町・土佐町)、2/22(安芸市・香美市)、2/28(高知ぢばさんセンター)の日程で、説明会を開催致します。高知県が活発化する好機でもありますので、積極的なご参加をお待ちしております。